

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 17春闘討論集会報告

## 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3713  
16年12月13日(火)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。  
12月10日(土)、あぐりの丘高原ホテルで「17春闘討論集会」が開催され、支部から山田書記長が参加しました。  
集会は中里厚春闘共闘議長挨拶でスタートしました。学習講演は橋口全労連事務局次長を講師に迎え、「歴史的な岐路の情勢のもとでたたかわれる2017

国民春闘をどうたたかおうか」をテーマに行なわれました。

講演では、安倍政権は来年1月にも解散総選挙の噂もある。その後は改憲発議、国民投票へとなだれ込もうとしている。アベノミクスの誤りと日本経済の低迷がより鮮明になり安倍政権と国民との矛盾が激化し、労働者の賃金は下がり続け、逆に大企業の内部留保は300兆円を超えている。また非正規率は4割超えワーキングプアも高止まりの状態。格差が拡大している。このような状況のもと行なわれる春闘は、労働組合の存在意義が問われることになる。総力を結集してたたかいましよと締めくくられました。

休憩を挟み鳥巢事務局長より春闘の取り組みについて提案があり、続いて特別報告として5団体から報告がありました。  
・おおとり運送分会からは、原告の方も登壇し悔しさをにじませながら、10月31日に長崎地裁佐世保支部で言い渡された解雇は無効という不当

判決の中身を報告されました。

・三菱造船の長船分会からは、大型客船の納期が大幅に遅れ、膨大な損失を出し、結果大型客船建造から撤退となった経過や来年3月に引き渡す予定の客船2番船が5月に変更された報告も併せてありました。

・長崎民医労より、増加する看護・介護にたいして現場は常に人手不足で職員が疲労している、など医療実態の報告。

・長崎県国公より、賃金引下げ違憲訴訟の経過について



ての報告がありました。

ユニオンからは山田書記長が「郵政労働契約法20条裁判」について、報告しました。裁判の原告に長崎支部の組合員はいませんが、長崎からこの20条裁判の提起をした事で、この間の裁判闘争にかかわってきた

経緯を報告しました。

また、「この裁判は単に郵政とのたたかいだけではなく、経団連も巻き込んだ大きなたたかいとなっている。この裁判に勝利することで日本の非正規社会を変える第1歩にもなる」と訴えま

した。  
報告された皆さんが熱く語られたため、終了予定時間を若干オーバーしましたが、この日の集会は成功に終わりました。

### 組合忘年会開催

同じく10日(土)に、駅前の居酒屋で組合忘年会を開催しました。

今年の忘年会は、年末年始繁忙期に突入した中での開催となり、小包担当や夜勤者が多く、参加者30名



と例年より若干少ない中で開催となりました。

山田書記長の乾杯が始まった忘年会では、各組合員より今年の出来事や反省事から、業務に関しての注文・組合への交渉依頼など多岐にわたる話が出、盛り上がりしました。

予定を一時間近く超え盛り上がった忘年会は、最後に向井副支部長から、年明け1月14日(土)に開催する新春支部旗開きへの案内と、参加及び準備への要請があった後あと3週間の繁忙期を怪我や事故無くみんな元気に笑顔で乗り切ろうと乾杯が行なわれ、散会となりました。  
参加者の皆さんお疲れ様でした。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。